

旧東陵中学校の利活用方向について

町長 取り壊しをせず、様々な方面で有効活用



山田 勉 議員

町長

① 39年が経過しており平成

山田 ①旧東陵中学校は30数年経過しているが公営住宅として改修し、高齢者及び町内在住の子育て世代の安価な居住空間とするのが可能か。

②図書館を含めた第二の公民館的機能とする考えはないか。

③エレベーターを設置し10年後を見据え、3年ごとに各階を改修して運用する考えは。

④将来的に温泉施設を併設し民間に委託運用することはできないか。

22年に耐震改修しているが耐震改修により現状の構造を維持したままでの改修に制限される建物であり公営住宅として活用を想定した場合電気及び給排水設備等など非常に改修費が高額になるため安価な住宅の提供には現実的な話ではない。

② 俱知安町の規模では図書室ではなく正規な図書館がある事が望まれておりますが図書館をかまえるなら町中において、買い物ついでに気軽に足を運べるような場所を想定した方が良くのではないかと考え車がなくても気軽に利用できるような位置にあった方が望ましい。

③ 施設が3階建てということもあり、仮にエレベーターを設置すると五千万円程度の経費は必要。

利用の方向性として将来的に3階までを使うことを想定するか一部のスペースに限定するか福祉関係・老人関係の施設として使うかエレベーターのないことを前提として使うことを選択するか事前に見定める必要があることから各階を改修する手法は難しいと考える。

④ 温泉の掘削に係る費用が膨大となることが見込まれ改修についても現状の構造を維持したままでの改修に制限される施設となることから現実的ではないと考えている。いずれにしても当面一般貸出を継続し、各方面から情報収集に努め早期に抜本的な利用策を見いだせるよう努めていく。

町長 用途変更も必ずであれば行っていくかなければならぬと認識している。

山田 廃校になった時点で取り壊しを考えたのか、それも維持を考えたのか。

町長 廃校になった時点で取り壊しという話は全くなく、どう有効活用していくかという議論をしてきている。

私の中では取り壊しという考えはない。色々な面からも早く方向を出して進めていきたい。

町長 財源として検討していた交付金について、今年度より制度自体が見直され、市町村が交付対象から外れるなど新たな交付金等の財源確保について改めて検討している。

山田 新給食センター隣接遊休農地について

現在土地所有者との交渉までには至っていないが今後とも市民農園の開設に向けて地権者との交渉、財源確保、運営方法等検討して続けていきたい。

教育長 学校給食センターの隣接農地の食育への有効活用については、今後の市民農園としての検討の動向踏まえながら、町長部局や学校とも連携、協力し、更にさまざまな有効活用の可能性を探っていきたい。



旧東陵中学校校内

山田 さまざまな業種が利用できるように用途区域の変更

一般質問 山田 勉